

会 議 録

1 会議名

令和2年度 第5回上越市介護保険運営協議会

2 あいさつ

3 議事

- (1) 国の介護報酬改定の概要について
- (2) 令和3年度の介護保険事業について
- (3) その他

4 開催日時

令和3年2月17日（水）午前10時30分～午前11時20分

5 開催場所

上越市役所 401 会議室

6 傍聴人の数

1人

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：藤原敬人、山田洋子、熊木敏夫、竹内明美、竹山貞子、梨本正昭、松本新一、石田さとみ、中川博之、廣瀬政子、丸山裕考、横野潔、押山貴光、川野英子、倉茂浩司、古川和代
- ・事務局：市川福祉部長、三上高齢者支援課長、丸田副課長、橋本副課長、清水係長、金井係長、小松係長、廣瀬作業療法士長、小出主任、佐藤主任、佐藤主事
- ・関係課 すこやかなくらし包括支援センター：福田副所長、佐藤保健師長
健康づくり推進課：伊倉保健師長

8 発言の内容

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

(1) 国の介護報酬改定の概要について

清水係長：資料 1、2 に基づき説明

(質疑なし)

(2) 令和 3 年度の介護保険事業について

清水係長：資料 3 に基づき説明

【古川委員】

市民プラザ内にある NPO・ボランティアセンターとの関連はあるのか。別のものとして地域福祉ボランティア事業を立ち上げるのか。

【三上課長】

NPO・ボランティアセンターでは福祉施設を含め、多くのボランティアを支援しており、この事業も NPO・ボランティアセンターと連携することとし、新たに開始する。高齢者の方の出番の創出や生きがいを目的としており、若い方を含め、それぞれの目的に合ったボランティアの登録を後押しするために、登録者のボランティア保険を市が負担する。NPO・ボランティアセンターにも登録事業所を案内し、広く周知していく。

【古川委員】

ボランティアが増えることは地域の介護力の増加につながり、介護施設にとっても外部の目が入ることは有効的で意義があると思うが、コロナ禍でない状況でも受け入れる施設やボランティアの希望者が少ない状況であったため、これからどのような形で実施していくのか考えを聞きたい。

【三上課長】

コロナ禍であるため、施設においては親族の面会も難しい状況であり、現時点ではボランティアの受入れが難しいことは承知している。

なお、特別養護老人ホームに聞き取りをしたところ、既にボランティアを受け入れている事業所もあった。受入れをしている事業所の取組を広く周知し、受け入れが難しい事業所に対しては協議しながら進めていきたい。

【竹内委員】

高齢化やコロナ禍で、ボランティアが活躍できる場が少なくなっている現状があるため、介護保険事業でボランティア事業を設立する事に期待を持っている。行政で力を入れていただき、新しい若年層を増やして欲しい。

【竹山委員】

ボランティアの受入れをしている福祉施設はどれぐらいの割合で、今後どれだけ増やしていきたいのか。

【橋本副課長】

特別養護老人ホームや入所系の施設に確認したところ、多くの施設でボランティアの受入れをしている。内容は、清掃、傾聴ボランティア、習字、歌謡ショーなどが多い。また、地元の方を中心に密接な関係を築きながら実施している施設もある。年齢層は高い方が多いことが聞き取りから分かっている。これから施設と十分協議して、コロナ禍でどういうところから始めていけるかを含めて考えていきたい。令和3年度はボランティア登録者数500人を目標としている。介護保険事業所220施設、障害福祉サービス事業所50施設、計270施設に今後働きかけをしていく。

【川野委員】

登録者がボランティアをするときの具体的な条件はあるのか。また、ボランティアを受入れる施設との調整はどのように進めていくのか。

【三上課長】

ボランティアの活動をしている時間は1～2時間程度が多いと聞いているが、時間や日数の条件を決める予定はない。受入れ先の施設と協議しながら活動していただきたい。

【川野委員】

具体的なボランティアの中身は事業者とボランティア登録者間で決めるのか。市でサポートはあるのか。

【三上課長】

事前に事業所からどのようなボランティアを募集するか聞き取り、ボランティア登録者から希望する活動を選んでいただき、紹介をする。その後の活動は、事業所とボランティア登録者との調整により進めていくことを考えている。

【川野委員】

マッチングサポートがあるとよいのではないかと考える。

【古川委員】

話し相手やお茶出し等、施設内部の仕事をする場合は、事前にやってもらっては困ることなどの教育について十分考慮していただきたい。外部の目が入ることは職員の刺激にもなるため、もっと活発になって欲しいという期待と、なんでも無償でされていくことへの不安感がある。

(3) その他

【小松係長】

①計画策定までの今後の予定について

1月8日から2月8日までパブリックコメントを実施したところ、個人1人と、1つの法人から合わせて4件の意見をいただいている。現在、意見に対する市の考え方を整理しているところであり、3月上旬に結果を公表する予定としている。

また、介護保険事業計画・高齢者福祉計画については、老人福祉法及び介護保険法に基づき、今後、県の意見を聴取することになっているため、これらの対応を踏まえて必要に応じて修正を加えた後、3月末に計画を策定する予定で進めていく。

委員の皆さまへは、4月に計画の確定版とパブリックコメントの対応について、お送りする予定としている。

②令和3年度の上越市介護保険運営協議会の予定について

来年度は、3回の介護保険運営協議会を予定しており、1回目を、4月下旬～5月上旬、2回目を10月下旬、3回目を令和4年の2月中旬の予定としている。なお、開催時期については、現時点の予定である。

9 問合せ先

福祉部高齢者支援課介護指導係

TEL025-526-5111（内線1673）

E-Mail : kaigo@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。